

## リフレッシュ教室

◎開催日：平成 28 年6月～平成 29 年1月 (7回)

◎場 所：かがわ総合リハビリテーションセンター  
太極拳から顔ヨガ・音楽体操・ダンスに移行して2年目です。



本年度は、新しい機械がうまく作動できないこともあり、参加者の皆様にはお迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。

2月には鶴尾フェスティバルでリフレッシュ教室を行い、たくさんの方々に楽しんでいただけたと思います。どなたでも参加できますので、ぜひ一度のぞいてみてください。(上砂)

## 手話サークル

◎開催日：平成 28 年5月～平成 29 年2月 (17 回)

◎場 所：かがわ総合リハビリテーションセンター



本年度も無事にサークル活動が終わりました。活動の合間にクリスマス会やお誕生会なども行いました。もちろん手話の勉強をしながらです。

本年度は、総会時に（会員も会員でない方も一緒に）オカリナ演奏に合わせて手話コーラスを披露しました。サークルが終了した後何日かとしてコーラスの練習をして頑張りました。

新年度の総会時もリコーダに合わせて手話コーラスを披露します。手話言語法が制定される前に皆さんも少しづつ手話に慣れ親しんでみませんか？ (上砂)

## 放課後子ども教室

◎開催日：平成 28 年5月～平成 29 年3月 (11 回)

◎場 所：鶴尾小学校



鶴尾小学校の学童「わんぱく」の講師をさせてもらった竹本薫です。みなさん、こんにちは。

指導をさせてもらった当初は、子どもたちの動きにてんてこ舞いでした。でも回を重ねるごとに統一できるようになり、やり易くなりました。子供たちは、とっても元気で一緒に工作教室などをするのは、こちらも楽しかったです。

3月末で、私はこの教室を辞めることになりましたが、この経験を次に活かしていきたいと思っています。

「わんぱく」の教室をさせていただきありがとうございました。そして一緒に指導をしてくださった先生方、ありがとうございました。最後に子供たち、ありがとうございました。とても楽しい時間でした。(竹本)

## みんなで楽しく運動遊び

◎開催日：平成 29 年 2 月 25 日 (土)

◎場 所：かがわ総合リハビリテーションセンター



今回で2回目となる「運動あそび」に参加して前回とは、また違った昔あそびの面白さに出会った。始めに幼い頃に親しんだ「あやとり」のほうきに挑戦。ほうきの足が3本、4本と増える度に悪戦苦闘しながら途中で何回もやり直して出来た時の嬉しさ！次に挑戦したのは折り紙で「レイ作り」切り込みを細かく入れるほど長い大きなレイが作れるとか？ 大小、色彩豊かなレイを首に掛けて記念写真に収まりました。

昔あそびでこんなに盛り上がるなんてびっくりです！本当に笑顔が溢れて楽しい一時でした。(おおた)

### へえ～ そうだったのか

### こいのぼりの川渡し

高知県を流れる四万十川の中流にある四万十町では、毎年 500 匹のこいのぼりが初夏の風をうけて泳ぐ「こいのぼりの川渡し」が行われています。これは、1974 年にはじめて 50 匹のこいのぼりを、子ども達のために渡したのが始まりです。

1997 年には、ナイアガラの滝でこいのぼりを泳がせるといふ壮大な計画が実行され、川幅 260 m のナイアガラ川に 200 匹のこいのぼりを泳がせることに成功しました。

学研『みんなの行事とくらし』より

わたし、35 年程前に、四万十町の川渡しこいのぼりを遠目に見学したことがあります。“対岸の山へ” どの様にしてロープを張ったのだろうか…と、「不思議さ」と「人の凄さ」を“うわ～” と思ったことを覚えています。上の記事を読んだら大人達の子供達に対する愛の深さや心意気が伝わってきますよね。今も、こいのぼり達はのどかな瀬音を聞きながら元気に泳いでいるんでしょうね。(高岡)

### 編集後記

28 年度は、大勢の会員さんの声を紙面にしてお届けする事が出来ました。いかがでしたでしょうか。原稿依頼に対しスムーズな投稿を頂けましたこと、誠に有り難うございました。今年も沢山の声をお届けしたいと思っています。お声がかかりましたら、どうぞよろしくお願いいたします。

…感謝(高岡)

### さらスポーツクラブが目指しているもの

全ての人(子どもから高齢者に至るまで、障がいの有無に関わらず)が能力に関わらず生涯に渡り、気軽にスポーツ文化活動に携われる環境の場を提供すること、また世代や障がいの枠を越えた交流を通じて相互理解を深めることにより、つながりを持ちお互いの可能性を広げることを目的としています。

ご意見・ご感想： ☎087-813-5016 E-mail [sara.takamatu@nifty.com](mailto:sara.takamatu@nifty.com)

発行責任者： 高岡憲美・木村有加・中田賢二

